

# 第 58 回-2015 紙パルプ技術協会 年次大会出展および講演



株式会社  
ウェルディングアロイズ・ジャパン

〒346-0101  
埼玉県久喜市菖蒲町昭沼24番1

電話番号：0480-31-8681(代)  
FAX番号：0480-31-8682

<http://www.waj.co.jp>

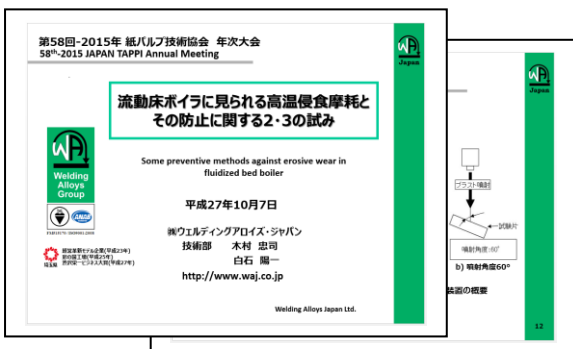
WAJ5G865

平成 27 年 10 月 7 日～8 日、新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）において第 58 回—2015 年紙パルプ技術協会年次大会が開催されました。今回は 67 団体が参加し、約 1,200 名の方が来場されました。

当社は耐摩耗・耐食肉盛溶接を施した展示品の出展および同時に開催された技術講演会に於いて、「流動床ボイラに見られる高温浸食摩耗とその防止に関する2・3の試み」について発表し、お問い合わせを多数頂き、大きな反響を得ました。



展示会場



技術講演資料

## 1. 耐摩耗・耐食肉盛溶接展示品

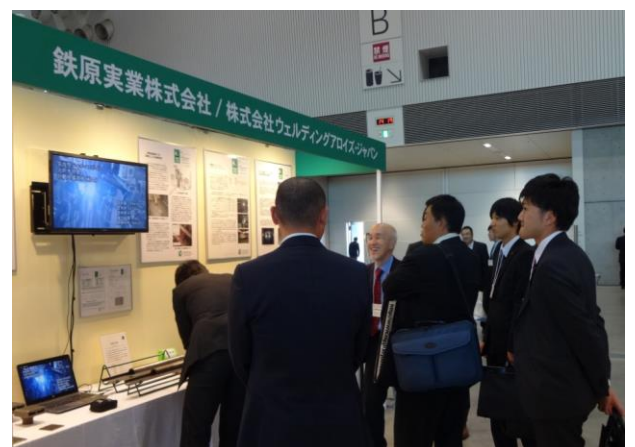
当社にて新たに開発した伝熱管外面の自動肉盛溶接装置は長尺6Mまで対応しており、本装置により施工された肉盛伝熱管の一例をはじめ、講演にて紹介された高温浸食摩耗策を施した流動化ノズル、耐摩耗・耐食対策肉盛施工を施したボイラーパネル、耐摩耗スクリューおよび超薄型肉盛りプレートなどを展示しました。

## 2. 技術講演会

これまで高温環境下における耐浸食摩耗材料を開発する上で、試験評価方法は確立されていませんでしたが、700℃や 800℃の高温プラスト摩耗試験を実施し、高温での耐浸食摩耗についてその結果を纏めることができました。

浸食摩耗を受けるボイラ水冷壁パネル表面（たとえばディスラガー周辺のパネル表面）や伝熱管外面（たとえば流動床ボイラの層内管外面）が減肉する結果、ボイラの稼働率に影響をおよぼします。このような個所には硬さの高い脆性被膜よりも耐熱性と延性を具備する肉盛金属の方が優れていると云えます。

講演後は多くの方が展示ブースまで足を運んで頂き、具体的なお問い合わせを頂きました。



当社展示ブースでの接客状況

